

日本共産党

質問者

小澤 彰一

小口 直美



持ち時間90分

インバウンド回復、おもてなしの心で

◆市長の政治姿勢について

問 敵基地攻撃能力を持つことは日本が攻撃される可能性が高まる。陸自松本駐屯地にスタンダードフミサイルが配備された場合、相手国の攻撃によって本市も危険にさらされることになる。市長はどのように考えるか。

答 周辺国からの脅威を受けていることから防衛力強化はやむを得ない状況だと理解しているが、軍事による抑止で安全を担保するという姿勢は際限のない軍拡を招くことになる。最適な防衛力に関し、国会における十分な議論と国民への丁寧な説明と世界平和の実現のための最善の方法について、

て、国民が強い問題意識を持つことが必要だと考える。

(市長)

◆姉妹都市との災害時相互応援協定について

問 本市が姉妹都市提携をしている国内3市町のうち、静岡県袋井市は御前崎市の浜岡原発の近くにある。大地震によって甚大な被害を受けた場合、災害時相互応援協定に基づいてどのように対応するのか。

答 袋井市が震災等による原子力災害に見舞われた場合、静岡県が「浜岡地域原子力災害広域避難計画」を定めていることから、袋井市はこの避難計画によって三重県に、三重県も被災した場合は福井県に避難することになっている。本市はこの避難計画により、御前崎市の一部避難者を受け入れることになっている。

(危機管理課)

◆観光振興について

問 奈良井宿は口コミサイトで外国人旅行者から高く評価されている。

トイレの整備とわかり易い表示はできないか。

答 外国人旅行者は、新型コロナウイルスによる渡航制限が緩和され奈良井へも戻りつつあるが、国籍が多岐にわたるため多言語表示が不十分で、わかりにくいという負の評価が挙げられている。ユニバーサルデザイン等のマークで対応し、トイレの不由さが評価を下げないような整備を検討したい。

問 外国人旅行者の多様な食習慣に対し、どのような対応を考えているか。

答 宗教の戒律による食べ物（ハラール）、環境問題（ヴィーガン）や健康問題（グルテンフリー）からの食材の制限があり、そうした食の多様性を受容していくことが求められているが、表示も環境も整っていない。

今後、飲食店への講習会を行い多様な食文化への理解を深め、きめ細かなホスピタリティの質を高め、選ばれる塩尻であり続けるよう努力する。

問 多言語表示では対応に限界がある上に、観光地の景観を害することに

もなる。交通・施設の表示をピクトグラム（絵記号）化できないか。

答 研究を進めていきたい。東京都では案内サインの標準化も進んでいる。他市町村と連携しながら広域的な表示方法の統一に向けて検討を進めたい。

(観光課)



既存のピクトグラム（絵文字）。車椅子仕様は事前に簡単な説明があれば一目瞭然。

◆JR塩尻駅前の整備について

問 日常、駅前が閑散としているが、イベント開催時は賑わいをみせる。

イベントが開催しやすくなるよう給排水等の機能拡充はできないか。

答 駅前公園は、飲食によるイベントを中心に賑わい創出に役立っている。イベント主催者、地域住民の要望を聴き、イベント等が開催しやすい環境となるよう給排水等の機能拡充について検討を進めたい。

(都市計画課)



塩尻駅前広場。イベント時は大変にぎわう。給水・排水口は隅に一か所あるのみ。